

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は11月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市ホームページに掲載しています。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

改正地方自治法に伴う内部統制の対応と学校給食費の公会計化について

正和会
杉山 行男 議員

質問 地方自治法の一部改正により、福生市では内部統制評価報告書の作成等について努力義務とされたが、その対応について伺う。また、学校給食費を公会計化すれば、内部統制に資するのではないか。

市長 内部統制評価報告書については、令和2年度までに導入が義務

づけられている都道府県、指定都市の動向等により判断したい。

教育長 学校給食費の公会計化は、令和2年度から実施予定である。

特別支援教育について

質問 特別支援学級と特別支援教室の目的や違いについて伺う。

教育長 特別支援学級は、通常の学級における学習が困難な児童・生徒のために編制された学級で、特別の教育課程を編成し、指導している。特別支援教室は、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を要する児童・生徒に対し、実効性のある取り組みを行っている。



▲給食で使用する野菜の納品の様子

来年度の福生七夕まつりについて

自民党福生
町田 成司 議員

質問 来年の七夕まつりは、東京オリンピック・パラリンピックの期間に重なるという話もあるが、開催日等についてどのように考えているのか。

市長 実行委員会の各部会において、開催時期や規模について協議していただき、企画委員会で各部会の

意見をすり合わせ、9月26日開催予定の福生七夕まつり実行委員会で、開催日等を正式に決定したい。

道路上に設置されている防犯カメラについて

質問 市内の道路上に防犯カメラが設置されているのを見る機会も多いが、市内にはどのくらいの数の防

犯カメラが設置されているか。

市長 市で道路上に設置している防犯カメラは、通学路の35台と、平成30年9月に福生警察署の要請により設置した福生駅周辺地域の7台がある。そのほか、商店街等で補助金を活用して設置している防犯カメラが9台ある。



▲今年の七夕まつりの様子

高齢運転者による事故の予防について

公明党
堀 雄一郎 議員

質問 高齢運転者による交通事故が社会問題となっているが、市内高齢者の自動車運転免許証の保有数、事故件数と予防について伺う。

市長 市内の75歳以上の高齢者の自動車運転免許証の保有数は、令和元年7月末現在1,925人で、事故件数は、平成30年は11件となっている。

市では、予防策として、安全安心まちづくりだより「あんまち」や高齢者向け交通安全講習会で免許証の返納に関する啓発を行っている。

公共交通を補完する視点から見た移動支援について

質問 高齢化が本格化する中、利用しやすく、持続可能な地域公共交

通の実現は重要課題であるが、市の所見を伺う。

市長 2025年問題と呼ばれる超高齢化社会の到来が様々な影響を及ぼすと懸念されており、高齢者の移動支援を含めた様々な施策について、行政需要や費用対効果などを十分に考慮しながら、検討してまいりたい。



▲安全安心まちづくりだより「あんまち」

7月31日に発生した熊川地区及び熊川二宮地区の停電について

正和会
小林 貢 議員

質問 7月31日午後8時43分ごろに発生した熊川地区の停電の詳細と市側の対応等について伺う。

市長 市は、東京電力パワーグリッド株式会社に状況を確認し、情報メールを配信した後、担当職員が市役所へ参集し、市民の問い合わせに対応したほか、福生第二小学校体育

館を自主避難所として開設した。

総務部長 柱上変圧器の故障により約3,600世帯が停電したが、翌日午前1時42分に全面復旧した。

今後の対策と課題について

質問 福生市地域防災計画には、今回のような停電に対する対策が掲

載されておらず、今後の課題と考えるが、所見を伺う。

市長 今回のケースは、電力会社の設備トラブルに起因する停電であり、対策を地域防災計画へ登載することは難しいが、対応マニュアル等の策定について、他自治体の取り組み等を踏まえて研究したい。



▲柱上変圧器

市制施行50周年記念事業の在り方について

正和会
石川 義郎 議員

質問 福生市は来年、市制施行50周年を迎えるが、記念事業に向けた取り組みについて伺う。

市長 大きな節目を市を挙げて祝うため、庁内検討委員会を立ち上げた。7月1日の市制記念日に近い日曜日の来年7月5日に盛大に記念式典を行うほか、さまざまな記念事業

を考えている。今後、市民や各団体から意見を伺い、市全体で50周年を祝う気運を醸成していく。

不登校対策の新たな施策について

質問 不登校児童・生徒が全国的に増加傾向にある中、市の新たな取り組みとして、中学校における支援

機能を備えた施設を整備することだが、内容を伺う。

教育長 中学校の不登校生徒への支援の在り方として、学校復帰のみを目指すのではなく、社会的な自立に向けた支援機能を備えた東京版不登校特例校分教室を新たに設置したいと考えている。



▲市内小・中学生の投票により決定した市制施行50周年記念ロゴマーク